

情報システムは人間社会の様々な場面で必須の基盤であり、その構築・運用を支えるソフトウェア工学の重要性は現在でも変わることはありません。そして IoT（モノのインターネット）や人工知能の進展がソフトウェア工学分野にも大きな影響を与え、新たな技術や研究トピックスが議論されるようになってきています。知能ソフトウェア工学研究会では、30年にわたり、人工知能、知識工学、ソフトウェア工学に関する学際的な研究、更に人間の知的活動を支える情報システムの開発に関する実用的な研究を発表し、議論する場を提供してまいりました。

こうした中、知能ソフトウェア工学研究会では、英文論文誌 D の小特集を定期的に発行し、当該分野における研究の活性化と、得られた知見の普及・定着を図ってまいりました。本年も、人工知能、知識工学、ソフトウェア工学分野を中心としつつも、それに限定されることなく知能ソフトウェア工学研究会の活動範囲に関係した論文を広く公募し、厳正な査読の上で英文誌の論文小特集とすることを企画しました。発行は 2024 年 5 月号を予定しています。

1. 対象分野

- Knowledge technologies for semantic web
- Ontology engineering
- Ontologies and patterns in UML modeling
- Knowledge technologies for service-oriented architecture (SOA), Internet of services and Internet of things (IoT)
- Architecture of knowledge-based systems, including intelligent agents and softbots
- Knowledge-based requirements engineering, domain analysis and modeling
- Knowledge engineering for process management and project management
- Intelligent user interfaces and human-machine interaction
- Methodology and tools for knowledge discovery and data mining
- Automating software design and synthesis
- Automating composition of components and services, methods to predict the properties of composites
- Knowledge-based methods and tools for testing, verification and validation, maintenance and evolution
- Decision support methods for software engineering
- Knowledge management for business processes, workflows and enterprise modeling
- Program understanding, programming knowledge, modelling programs and programmers
- Knowledge-based methods and tools for software engineering education
- Knowledge-based methods for software metrics and testing
- Application of artificial intelligence
- Application of big data
- Application of IoT
- Application software for business
- Self-adaptive systems

2. 論文の執筆と取り扱い（その他、詳細な注意事項は、学会の投稿ページを御確認下さい）

通常の論文と同一とします。

英文論文誌掲載の information for authors (https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御参照下さい。投稿は、本会電子投稿システム https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx による電子投稿のみとします。なお登録時には必ず“Journal/Section”で [Special-KB] Knowledge-Based Software Engineering を選択して下さい。[Regular-ED] や他の小特集を選択されませんよう御注意下さい。Web による電子投稿の際、“Copyright Transfer, Article Processing Charge Agreement, and Notices from the IEICE, and Privacy Policy” に承諾して頂きます。

- ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり 8 ページ、レターの場合は刷り上がり 2 ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は 4 ページです。標準ページ数を超えると、掲載料が急に高くなりますので御注意下さい。
- 査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合があります。

オープン化：2017 年 1 月号以降に掲載された電子情報通信学会英文論文誌 D の全ての論文を、J-STAGE を通じて

全世界の読者へ公開しています。 <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/transinf>

3. 論文投稿締切日 2023年5月9日(火) 厳守

4. 問合せ先 (株)NTT データ技術革新統括本部 猿渡卓也

E-mail : Takuya.Saruwatari@nttdata.com

5. 小特集編集委員会

委員長 猿渡卓也 (NTT データ)

幹事 田辺良則 (鶴見大), 青木善貴 (BIPROGY), 堀田大貴 (茨城大)

委員 小島英春 (阪工大), 柏 祐太郎 (奈良先端大), 中川博之 (阪大), 小形真平 (信州大), 横原絵里奈 (同志社大), 糸野文洋 (日本工大), 大西 淳 (立命館大), 白銀純子 (東京女子大), 竹内広宜 (武蔵大), 中谷多哉子 (放送大), 鷺崎弘宜 (早大), 横川智教 (岡山県立大), 山本修一郎 (名古屋国際工科専門職大)

6. 重要なお知らせ

*招待論文を含む全ての著者は、論文が採録となった場合、2024年1月頃に掲載料をお支払い頂くことになります。

2024年2月15日までに支払いが完了しない場合には、採録取り消しとなります。

*投稿者に非会員が含まれている場合には、この機会に入会することを勧めます。著者全員が非会員の場合、非会員掲載料が適用されます。ただし、招待論文に関してはこの限りではありません。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <https://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>